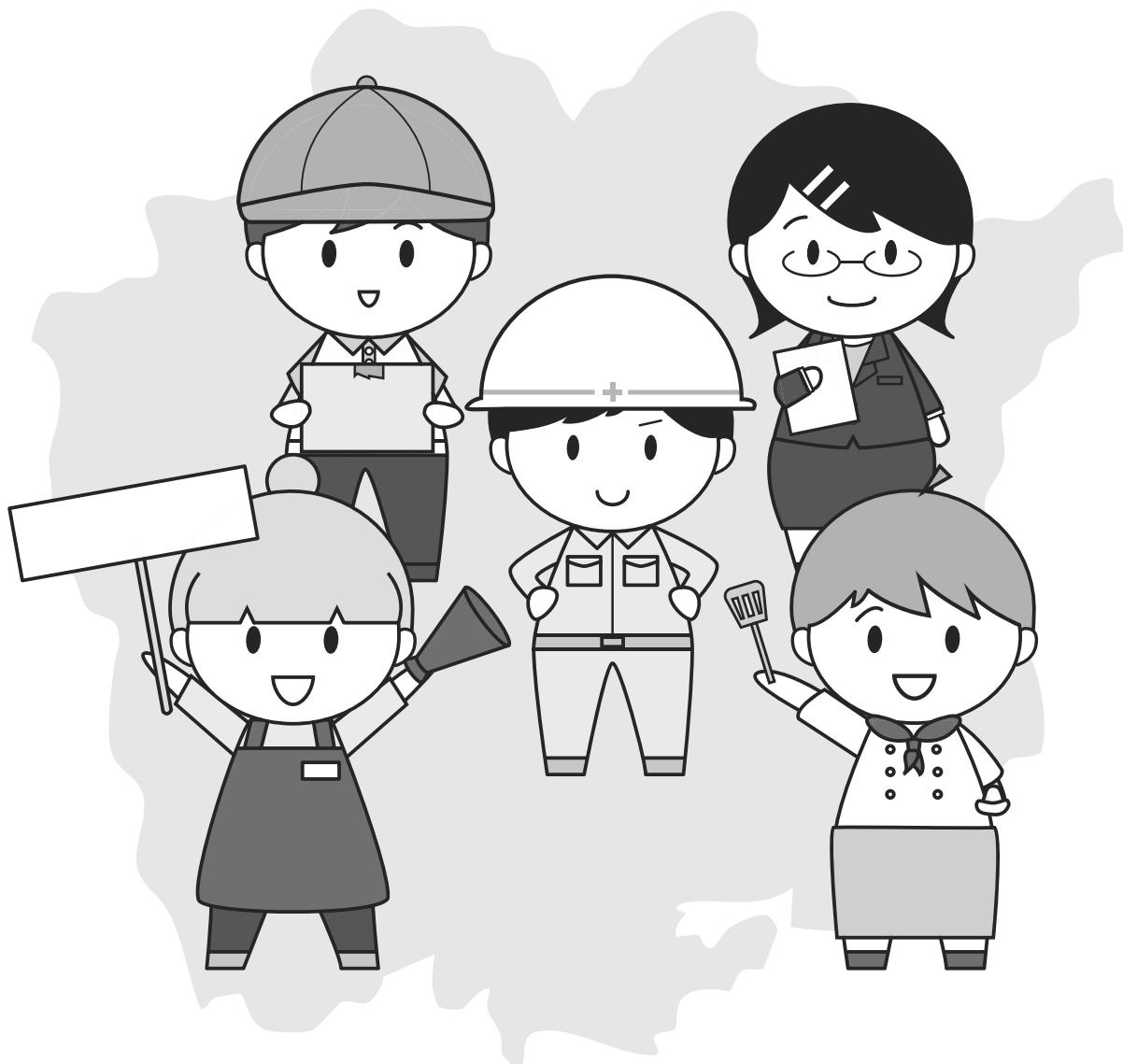


中小企業景況調査報告書

令和 7 年度

第3回（令和7年10月～12月期）



岡山県商工会連合会

調査要領

1 調査方法

下記調査対象商工会地区の該当企業を経営指導員が直接訪問して調査した。

2 調査時期

令和7年10月～12月期の実績（12月は見込）及び令和8年1月～3月期の見通しを対象としたこの調査は、令和7年11月15日時点で実施した。

3 調査対象

《商工会別等の区分》

商工会名	産業別、人口規模別市町村類型別内訳	企業数	業種別企業数			
			製造業	建設業	小売業	サービス業
岡山北	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	4	5
岡山西	"	15	3	3	4	5
岡山南	"	15	4	2	6	3
瀬戸内市	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
つくば	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	4	2	5	4
総社吉備路	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
真備船穂	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	5	4
備中西	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	4	2	4	5
備北	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	14	4	2	5	3
真庭	"	15	3	3	4	5
久米郡	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	3	2	4	6
鏡野町	"	15	2	2	5	6
合計	12商工会	179	41	30	54	54

4 DIとは

DIとはディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向を表す指標のことである。算出方法は増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いて計算する。DIがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となるが、商品仕入、販売などの単価の場合は、プラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となる。

例えば、売上高で増加企業50%、不变企業30%、減少企業20%の場合は、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、売上高に対して強気（楽観）の度合いを表している。

また、商品仕入単価で上昇企業20%、不变企業30%、低下企業50%の場合は $DI = 20 - 50 = -30$ となり、商品仕入単価に対して低下気運の度合いを表している。

目 次

	頁
1 産業全体の景況概況	2
(1) 産業全体の業況	2
(2) 業種別の景況概要	2
(3) 主要4項目及び業況判断D Iの推移	4
2 製造業の景況	6
(1) 主要項目の動き	6
(2) 主要3項目の状況	7
(3) 経営上の問題点の状況	8
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	8
(5) 主要景況項目の概況	9
3 建設業の景況	10
(1) 主要項目の動き	10
(2) 主要3項目の状況	11
(3) 経営上の問題点の状況	12
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	12
(5) 主要景況項目の概況	13
4 小売業の景況	14
(1) 主要項目の動き	14
(2) 主要3項目の状況	15
(3) 経営上の問題点の状況	16
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	16
(5) 主要景況項目の概況	17
5 サービス業の景況	18
(1) 主要項目の動き	18
(2) 主要3項目の状況	19
(3) 経営上の問題点の状況	20
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	20
(5) 主要景況項目の概況	21

1 産業全体の景況概況

産業全体の業況DIは、2期連続で上昇した。製造業・建設業・小売業では持ち直しの動きが継続する一方、物価高に対する価格転嫁の難しさは依然として残っている。サービス業では需要構造やニーズの変化を背景に景況感は弱含みで推移している。

(1) 産業全体の業況

- ・産業全体の業況DIは、-13.5と2期連続で上昇した（前期差5.4ポイント増加）。来期は-14.5であり、業況判断は低下に転じると予想。
- ・売上（完工工事）額DIは、前期から8.9ポイント上昇し、-7.8となった。来期見通しは-16.2であり、マイナス幅は拡大する見通し。
- ・採算DIは、前期から9.3ポイント改善し、-15.1となった。来期見通しは-14.5であり、マイナス幅はさらに縮小する見通し。

(2) 業種別の景況概要

製造業 「業況判断DI」は、-4.9、対前期比17.1ポイントの好転(P.6)

経営上の問題点	
第1位	原材料価格の上昇
第2位	需要の停滞、人件費の増加
第4位	製品ニーズの変化、従業員の確保難

業況判断DI値は、好転、不变が増加、悪化が減少した。主要DIの前期比較は、売上（加工）額DI、採算DI、資金繰りDI、従業員DIの全てが増加（好転）した。

建設業 「業況判断DI」は、-3.5、対前期比9.9ポイントの好転(P.10)

経営上の問題点	
第1位	材料価格の上昇
第2位	民間需要の停滞
第3位	熟練技術者の確保難

業況判断DI値は、好転、不变が増加、悪化が減少した。主要DIの前期比較は、完工工事額（請負工事）DI、採算DI、資金繰りDI、従業員DIの全てが増加（好転）した。

小売業 「業況判断DI」は、-29.6、対前期比1.3ポイントの好転(P.14)

経営上の問題点	
第1位	仕入単価の上昇
第2位	消費者ニーズの変化への対応
第3位	購買力の他地域への流出

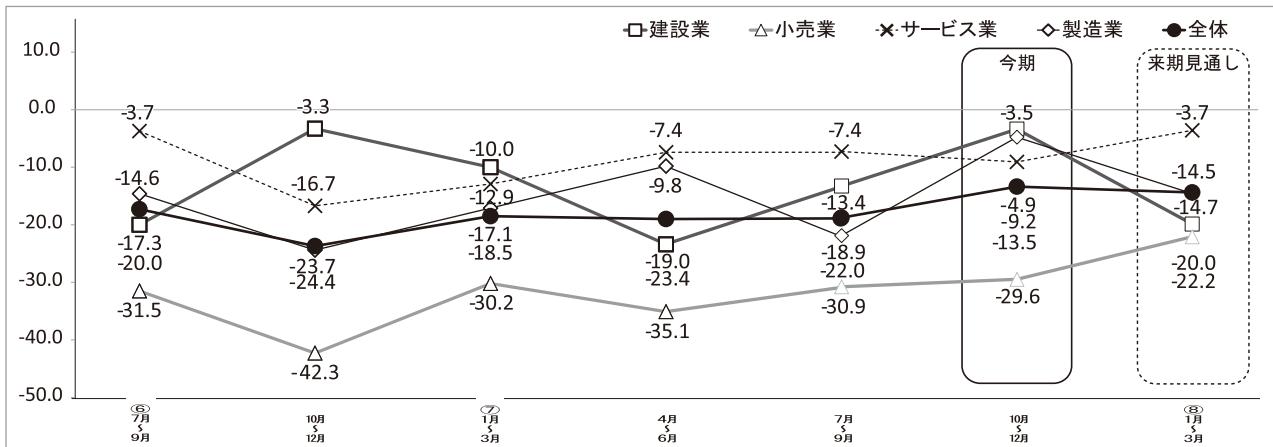
業況判断DI値は、好転、不变が増加、悪化が減少した。主要DIの前期比較は、売上額DI、採算DI、資金繰りDI、従業員DIの全てが増加（好転）した。

サービス業 「業況判断DI」は、-9.2、対前期比1.8ポイントの悪化(P.18)

経営上の問題点	
第1位	利用者ニーズの変化
第2位	材料等仕入単価の上昇
第3位	人件費以外の経費の増加

業況判断DI値は、好転は増減なし、不变が減少、悪化が増加した。主要DIの前期比較は、売上（収入）額DIが減少、採算DIが好転、資金繰りDIが悪化、従業員DIが減少した。

<図1-1>業況判断DIの推移



●調査対象企業からのコメント

製造業

- 原材料、燃料費、人件費、その他のコスト上昇が続いているが、価格に転嫁できていない。業況は厳しいが家内経営で成り立っている。(豆腐・油揚製造業)
- 今の業況は收支トントンで、需要の停滞により来期の受注量と生産量の減少があると心配している状況。(じゅうたん・その他の繊維製床敷物製造業)
- 加工単価の上昇難が顕著になった。人件費等、人に関わる負担も大きい。(自動車部分品・附属品製造業)

建設業

- 物価上昇約20%に伴い価格転嫁を行うと値引きを求められることもある。(電気配線工事業)
- 物価高の影響で節約志向にあり世の中の動きが止まっているように感じられる。商工会員同士の交流機会も減少している。もう少し活発な地域にしていきたい。(給排水・衛生設備工事業)
- 当面は元請・下請負いを問わず、売上高を維持または高めるための営業・新規事業への参入に努力する必要がある。工事完成の短期化、原価を下げる努力も行う。OA設備投資も必要不可欠。(一般管工事業)

小売業

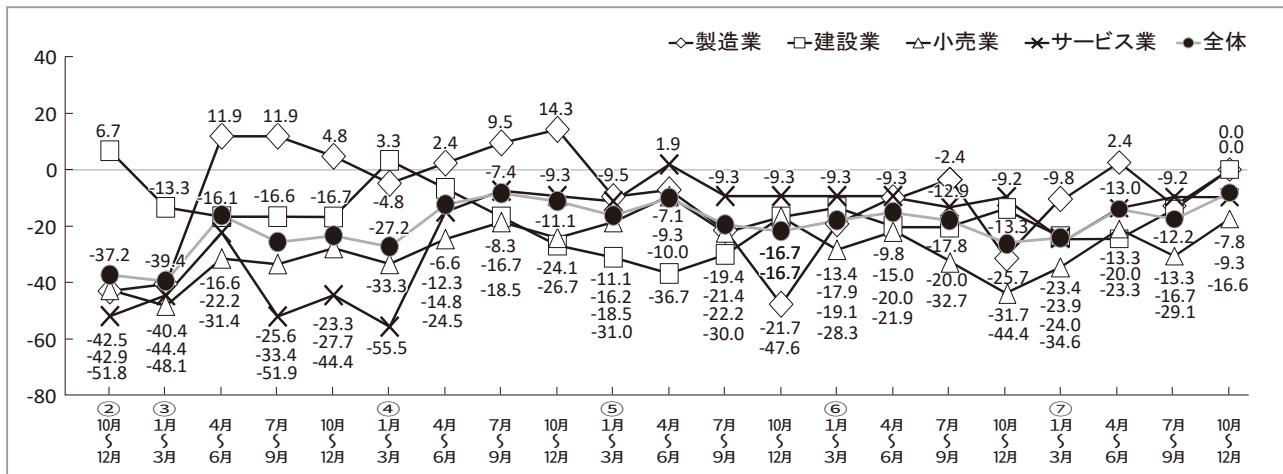
- 仕入価格の上昇が続き、販売価格も上昇している。それによって、消費者の買い控えが起り、安い商品を求めて大型店へ客足が流れていると思われる。(各種食料品小売業)
- ウクライナ戦争以降、石油関連製品(仕出し容器など)の価格が上がっている。(鮮魚小売業)
- 地域の高齢化が進み今後の売上増加は見込めない。新たなサービス等に取り組みたい。(ガソリンスタンド)

サービス業

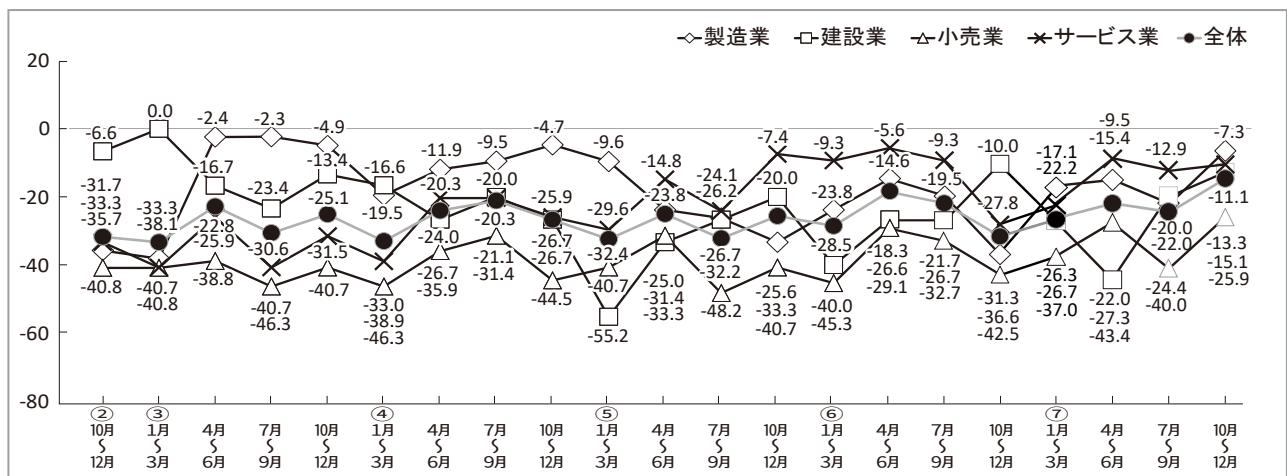
- 地域が高齢化しているため、若年者向けの新サービスが必要。(エステティック業)
- 大阪万博後に客数が回復しインバウンドも増加。値上げ後は稼働率を上げて原価上昇分を吸収することを目標としている。(食堂、レストラン(専門料理店を除く))
- 猛暑の影響もあり衣替え需要が低調。天候不順、物価高により需要を見込むことが出来ない。専門性を高め需要拡大が必須である。(普通洗濯業)

(3) 主要4項目及び業況判断DIの推移 一前年同期比一

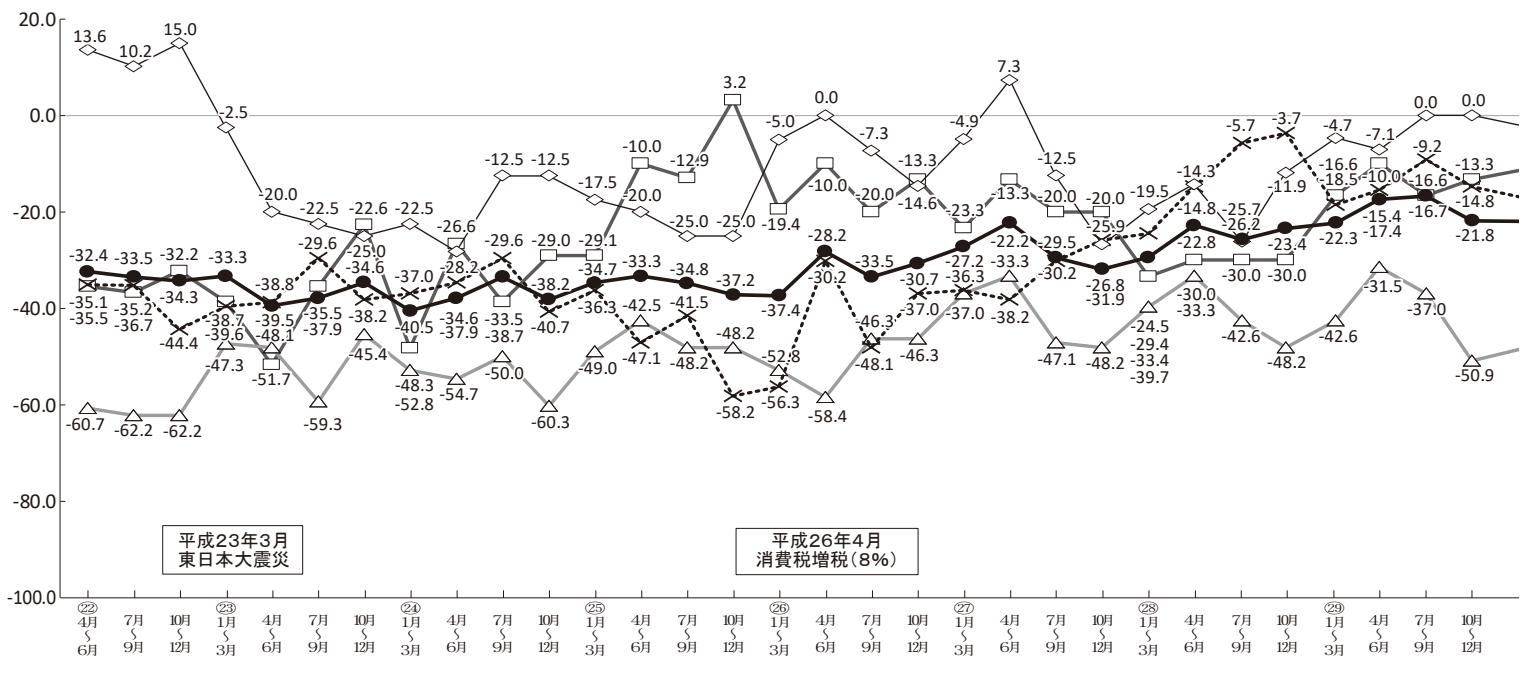
<図1-2> (岡山県) 売上(完成工事)額の推移



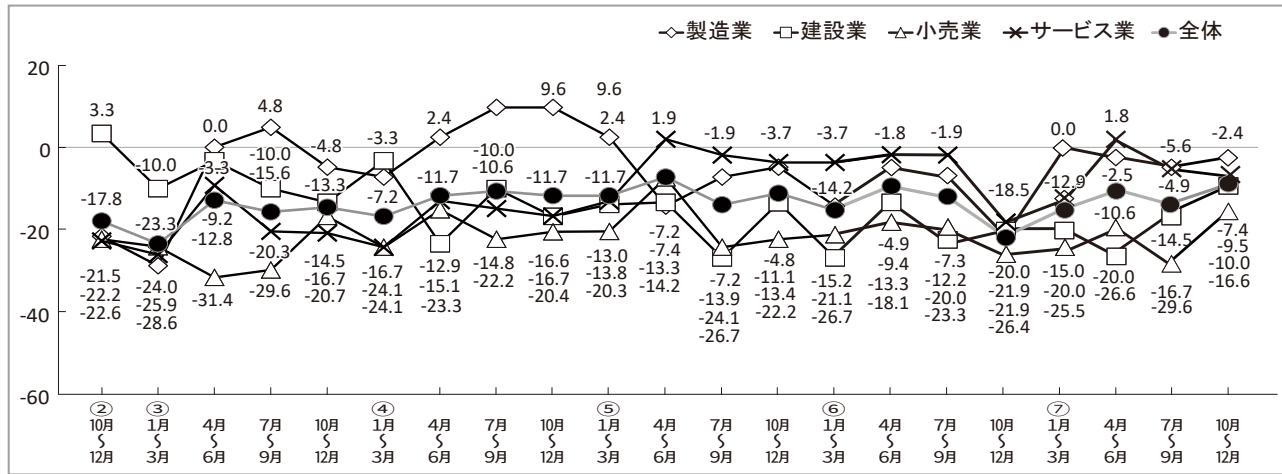
<図1-3> (岡山県) 採算の推移



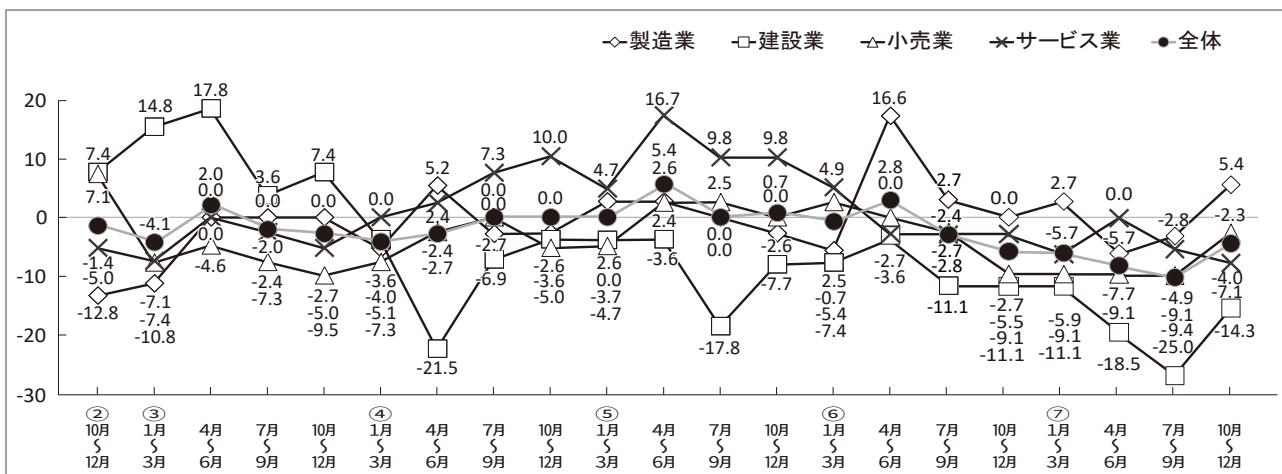
<図1-6> (岡山県)



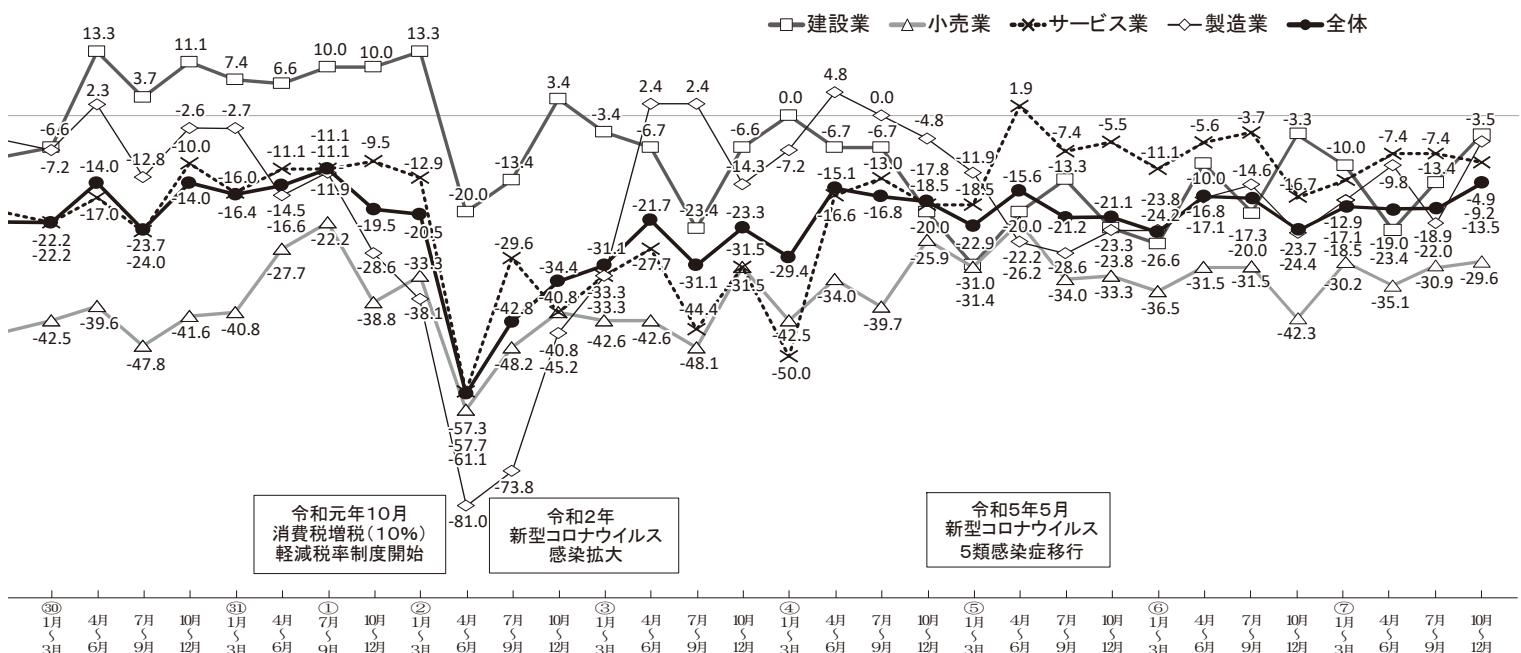
<図1-4> (岡山県) 資金繰りの推移



<図1-5> (岡山県) 従業員数の推移



商工会地区の業況判断D I



2 製造業の景況

1) 主要項目の動き

「売上(加工)額」DI(増加ー減少)は、(前期-12.2)→0.0(前期差12.2ポイント増)と増加した。来期のDI(増加ー減少)は、今期比▲12.2ポイントの減少を予想している。

「採算(経常利益)」DI(好転ー悪化)は、(前期-22.0)→-7.3(前期差14.7ポイント増)と好転した。来期のDI(好転ー悪化)は、今期比▲2.5ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」DI(好転ー悪化)は、(前期-4.9)→-2.4(前期差2.5ポイント増)と好転した。来期のDI(好転ー悪化)は、今期比▲7.4ポイントの悪化を予想している。

「原材料仕入単価」DI(上昇ー低下)は、(前期43.2)→48.7(前期差5.5ポイント増)と上昇した。

「売上(加工)単価」DI(上昇ー低下)は、(前期17.1)→12.2(前期差4.9ポイント減)と低下した。

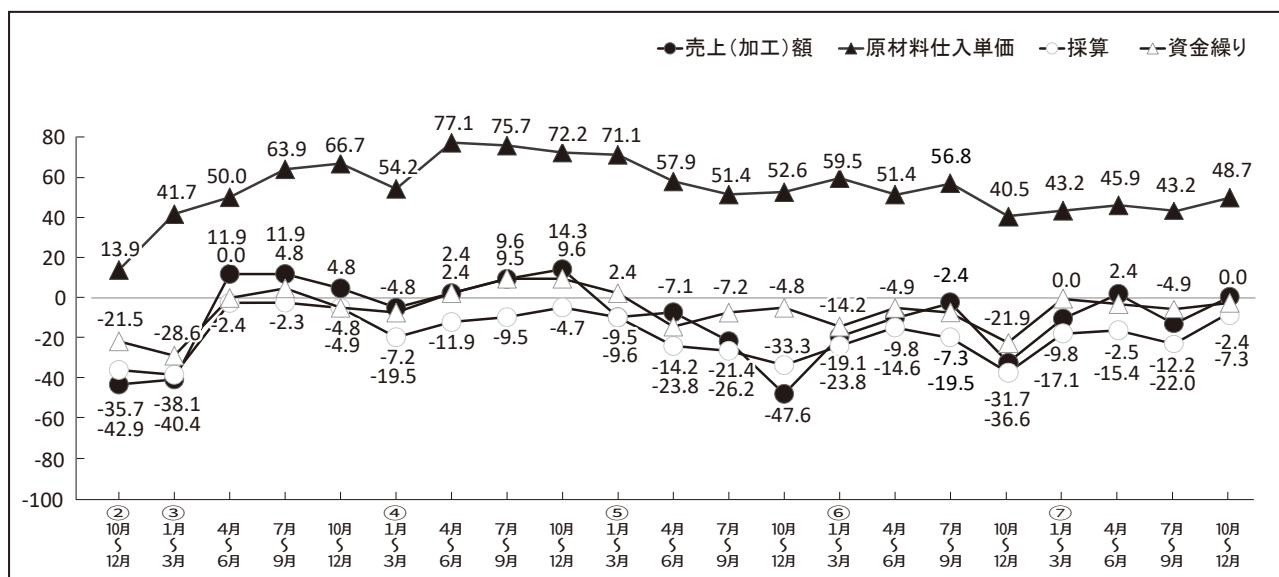
「売上(加工)数量」DI(増加ー減少)は、(前期-21.9)→-4.9(前期差17.0ポイント増)と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「原材料価格の上昇」(20.6%)、第2位は「需要の停滞」、「人件費の増加」(14.7%)、第4位は「製品ニーズの変化」、「従業員の確保難」(11.8%)である。

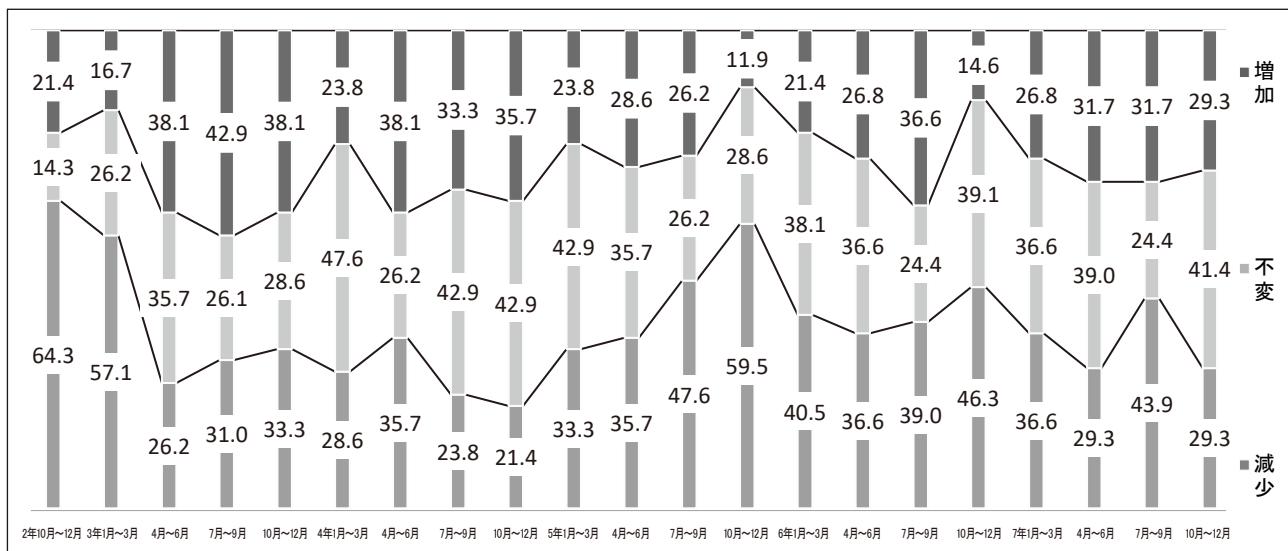
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図2-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

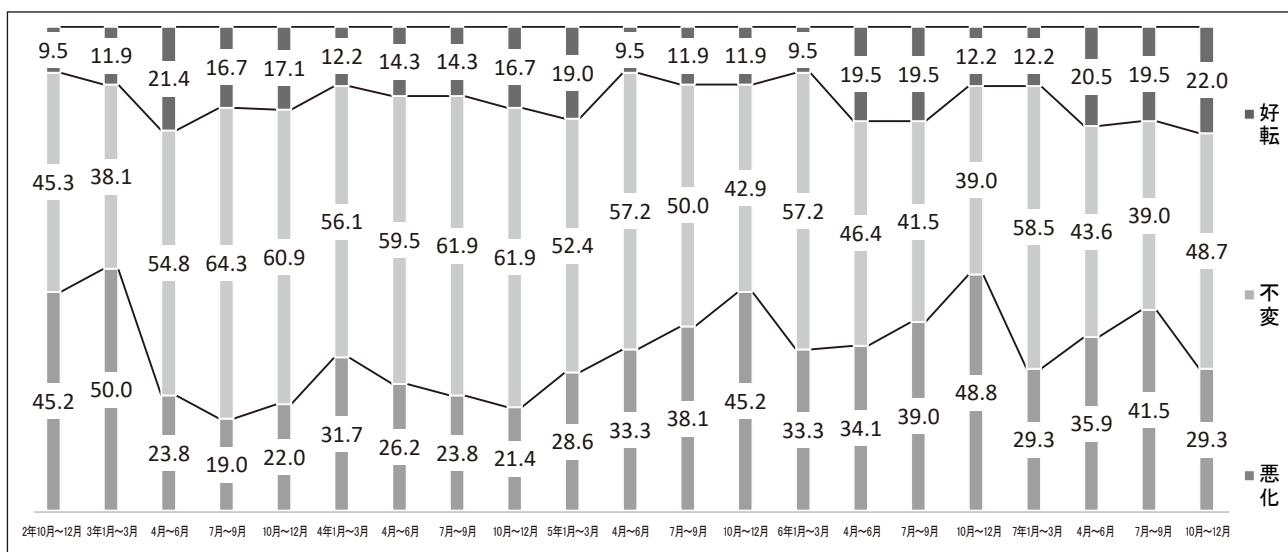


(2) 主要3項目の状況

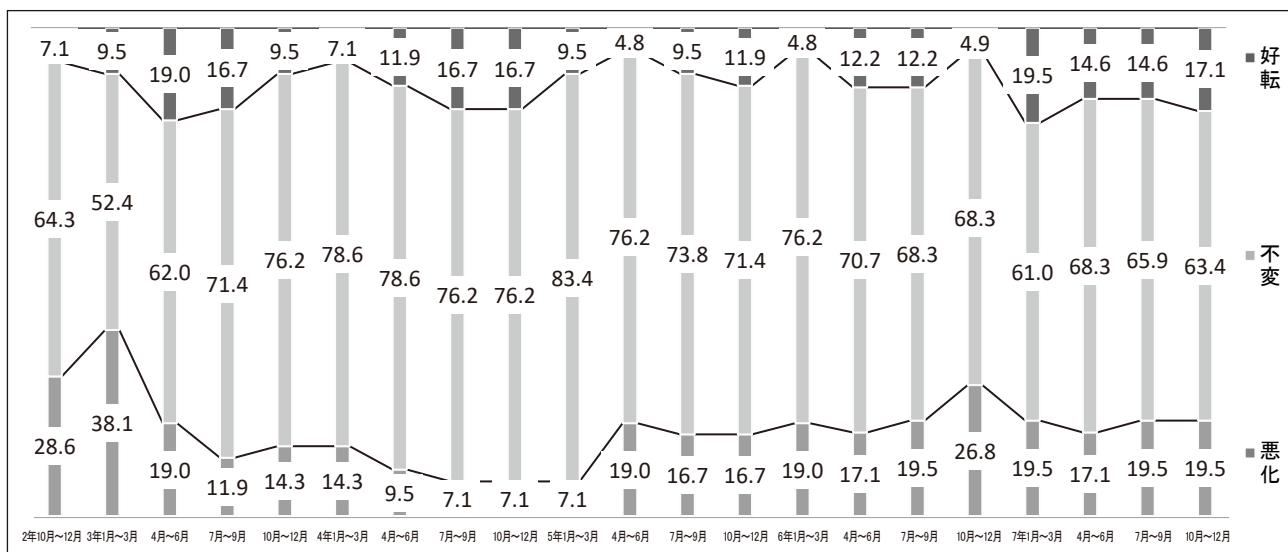
<図2-2> (岡山県) 売上(加工)額の状況



<図2-3> (岡山県) 採算の状況

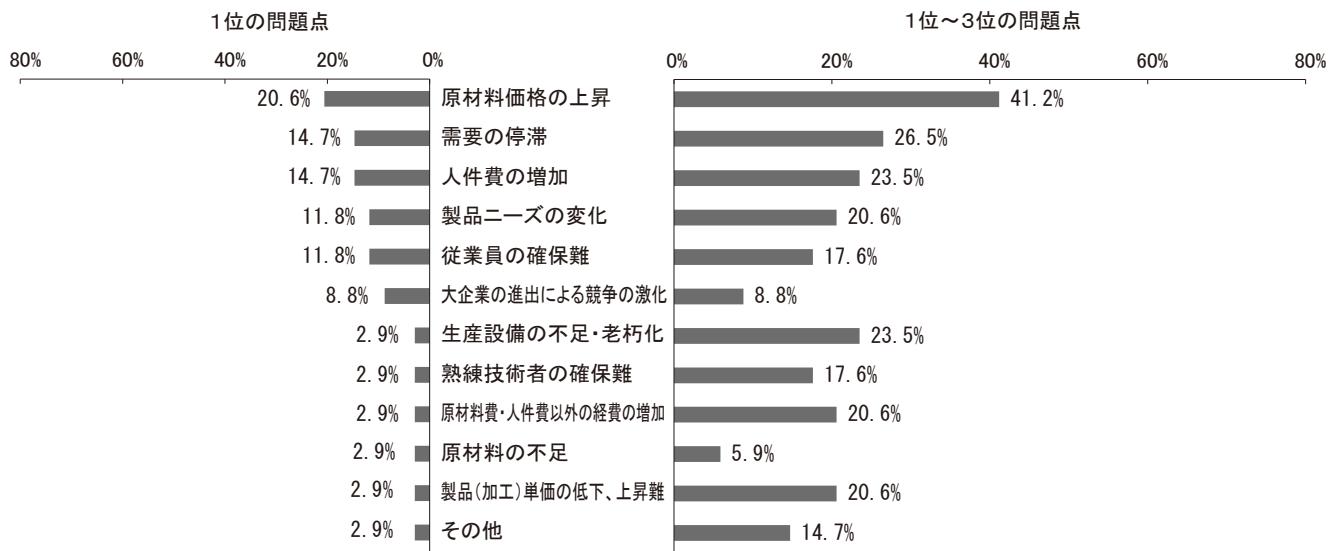


<図2-4> (岡山県) 資金繰りの状況



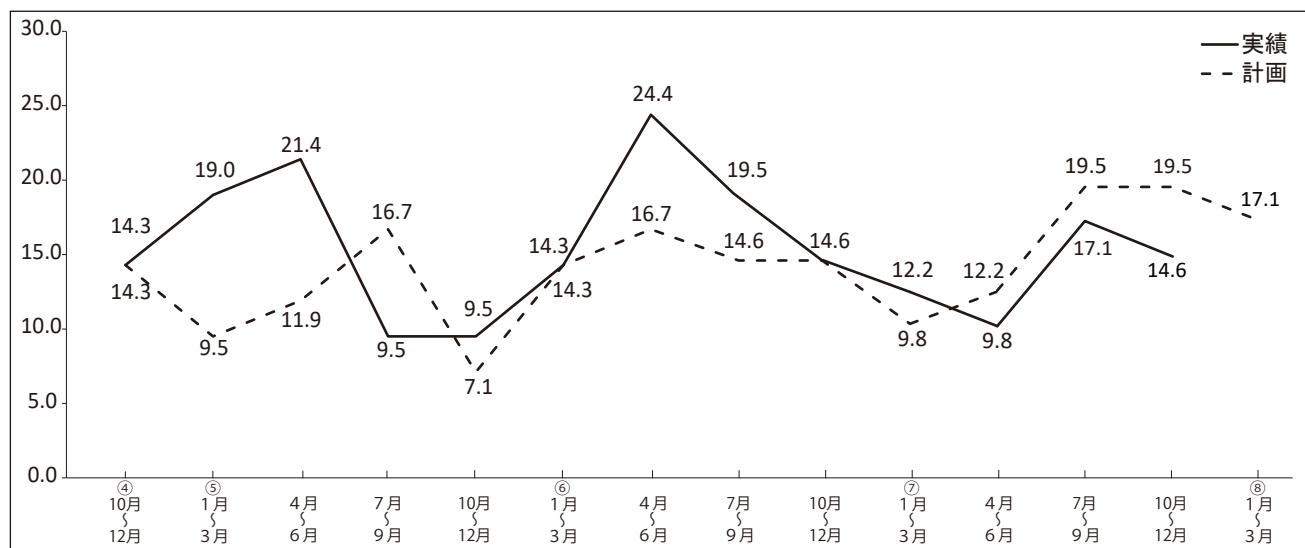
(3) 経営上の問題点の状況

<図2-5> (岡山県) 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

<図2-6> (岡山県) 設備投資の状況 (実績・計画)



<表2-1> (岡山県) 新規設備投資

(%、上段：実施、下段：計画)

	4年 10月 ～12月	5年 5年 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月	7年 10月 ～12月	8年 1月 ～3月	
実施している	14.3 14.3	19.0 9.5	21.4 11.9	9.5 16.7	9.5 7.1	14.3 14.3	24.4 16.7	19.5 14.6	14.6 14.6	12.2 9.8	9.8 12.2	17.1 19.5	14.6 19.5	17.1	
土地	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	10.0 28.6	0.0 0.0	16.7 16.7	20.0 0.0	25.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
工場建物	0.0 16.7	12.5 25.0	44.4 20.0	0.0 42.9	0.0 100.0	0.0 50.0	20.0 57.1	12.5 50.0	16.7 50.0	20.0 33.3	25.0 0.0	42.9 60.0	50.0 50.0	50.0 37.5	14.3 57.1
生産設備	16.7 33.3	62.5 25.0	11.1 20.0	50.0 42.9	75.0 100.0	83.3 50.0	60.0 57.1	16.7 50.0	16.7 33.3	20.0 0.0	50.0 75.0	14.3 0.0	66.7 50.0	66.7 37.5	14.3 57.1
車両・運搬具	33.3 33.3	25.0 0.0	11.1 40.0	25.0 14.3	0.0 0.0	16.7 33.3	0.0 14.3	37.5 33.3	33.3 0.0	20.0 0.0	25.0 75.0	0.0 0.0	16.7 25.0	16.7 37.5	42.9
付帯施設	16.7 0.0	12.5 50.0	11.1 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 14.3	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	42.9 0.0	0.0 0.0	42.9 25.0	14.3
OA機器	0.0 16.7	12.5 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	0.0 28.6	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	14.3 12.5	16.7 14.3	14.3
福利厚生施設	33.3 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	12.5 16.7	16.7 16.7	16.7 25.0	0.0 20.0	25.0 12.5	14.3 0.0	16.7 14.3	16.7 14.3	14.3
その他	0.0 0.0	0.0 0.0	22.2 14.3	25.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	14.3
実施していない 計画していない	85.7 85.7	81.0 90.5	78.6 88.1	90.5 83.3	90.5 92.9	85.7 85.7	75.6 83.3	80.5 85.4	85.4 85.4	87.8 90.2	90.2 87.8	82.9 80.5	85.4 80.5	85.4 82.9	

(5) 主要景況項目の概況

<表2-2> (岡山県) 製造業 (令和7年10月~12月)

項目名		D I 値の変化			
		(a)上昇・増加・好転	(b)不変	(c)低下・減少・悪化	(a)-(c)
売上(加工)額	今期	29.3	41.4	29.3	0.0
	前期	31.7	24.4	43.9	-12.2
	今期-前期	-2.4	17.0	-14.6	12.2
	来期	17.1	53.6	29.3	-12.2
	来期-今期	-12.2	12.2	0.0	-12.2
輸出額	今期	11.1	88.9	0.0	11.1
	前期	0.0	90.9	9.1	-9.1
	今期-前期	11.1	-2.0	-9.1	20.2
売上(加工)単価	今期	19.5	73.2	7.3	12.2
	前期	29.3	58.5	12.2	17.1
	今期-前期	-9.8	14.7	-4.9	-4.9
売上(加工)数量	今期	26.8	41.5	31.7	-4.9
	前期	24.4	29.3	46.3	-21.9
	今期-前期	2.4	12.2	-14.6	17.0
原材料仕入単価	今期	51.4	45.9	2.7	48.7
	前期	43.2	56.8	0.0	43.2
	今期-前期	8.2	-10.9	2.7	5.5
原材料在庫数量	今期	5.6	83.3	11.1	-5.5
	前期	2.8	88.9	8.3	-5.5
	今期-前期	2.8	-5.6	2.8	0.0
製品在庫数量	今期	8.6	80.0	11.4	-2.8
	前期	8.3	91.7	0.0	8.3
	今期-前期	0.3	-11.7	11.4	-11.1
採算(経常利益)	今期	22.0	48.7	29.3	-7.3
	前期	19.5	39.0	41.5	-22.0
	今期-前期	2.5	9.7	-12.2	14.7
	来期	14.6	61.0	24.4	-9.8
	来期-今期	-7.4	12.3	-4.9	-2.5
引合い	今期	17.5	60.0	22.5	-5.0
	前期	10.0	52.5	37.5	-27.5
	今期-前期	7.5	7.5	-15.0	22.5
受注残	今期	7.3	73.2	19.5	-12.2
	前期	7.3	68.3	24.4	-17.1
	今期-前期	0.0	4.9	-4.9	4.9
従業員 (含臨時・パート)	今期	8.1	89.2	2.7	5.4
	前期	11.1	75.0	13.9	-2.8
	今期-前期	-3.0	14.2	-11.2	8.2
外部人材 (請負・派遣)	今期	0.0	94.1	5.9	-5.9
	前期	0.0	95.2	4.8	-4.8
	今期-前期	0.0	-1.1	1.1	-1.1
設備操業率	今期	17.1	58.5	24.4	-7.3
	前期	12.2	51.2	36.6	-24.4
	今期-前期	4.9	7.3	-12.2	17.1
業況(自社)	今期	24.4	46.3	29.3	-4.9
	前期	19.5	39.0	41.5	-22.0
	今期-前期	4.9	7.3	-12.2	17.1
	来期	14.6	56.1	29.3	-14.7
	来期-今期	-9.8	9.8	0.0	-9.8
資金繰り	今期	17.1	63.4	19.5	-2.4
	前期	14.6	65.9	19.5	-4.9
	今期-前期	2.5	-2.5	0.0	2.5
	来期	12.2	65.8	22.0	-9.8
	来期-今期	-4.9	2.4	2.5	-7.4

3 建設業の景況

1) 主要項目の動き

「完工工事額（請負工事）」DI（増加ー減少）は、（前期－13.3）→0.0（前期差13.3ポイント増）と増加した。来期のDI（増加ー減少）は、今期比▲23.3ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」DI（好転ー悪化）は、（前期－20.0）→－13.3（前期差6.7ポイント増）と好転した。来期のDI（好転ー悪化）は、今期比▲0.1ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」DI（好転ー悪化）は、（前期－16.7）→－10.0（前期差6.7ポイント増）と好転した。来期のDI（好転ー悪化）は、今期比▲16.7ポイントの悪化を予想している。

「材料仕入単価」DI（上昇ー低下）は、（前期60.0）→66.7（前期差6.7ポイント増）と上昇した。

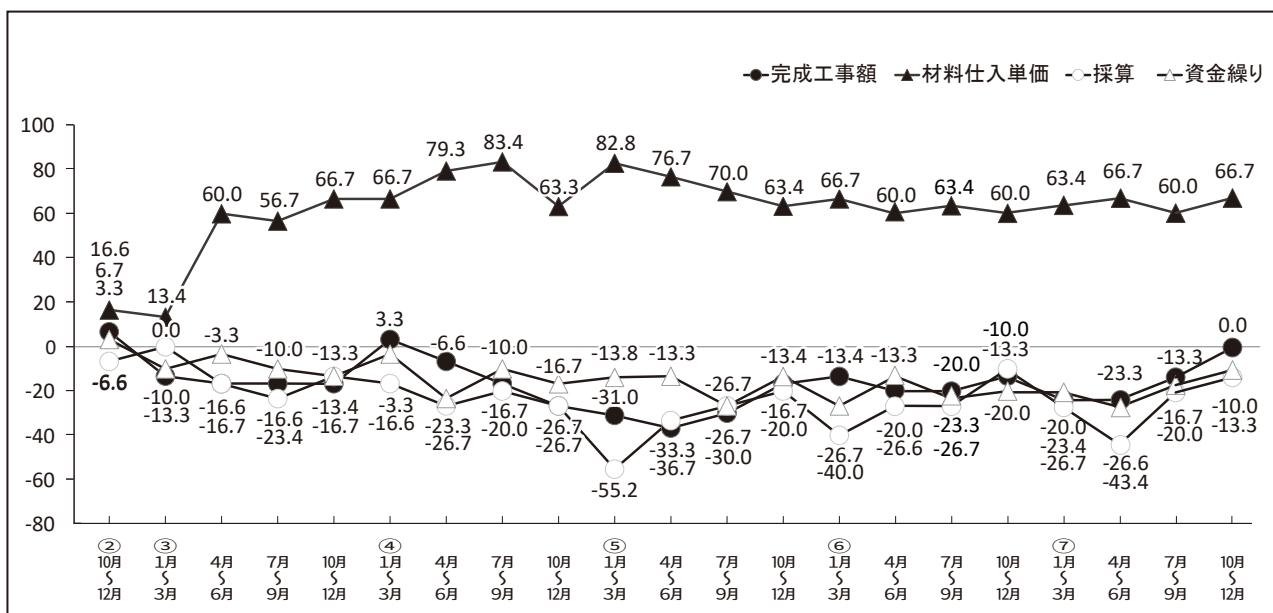
受注額（新規契約工事）」DI（増加ー減少）は、（前期－16.6）→－6.6（前期差10.0ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料価格の上昇」（25.9%）、第2位は「民間需要の停滞」（18.5%）、第3位は「熟練技術者の確保難」（11.1%）である。

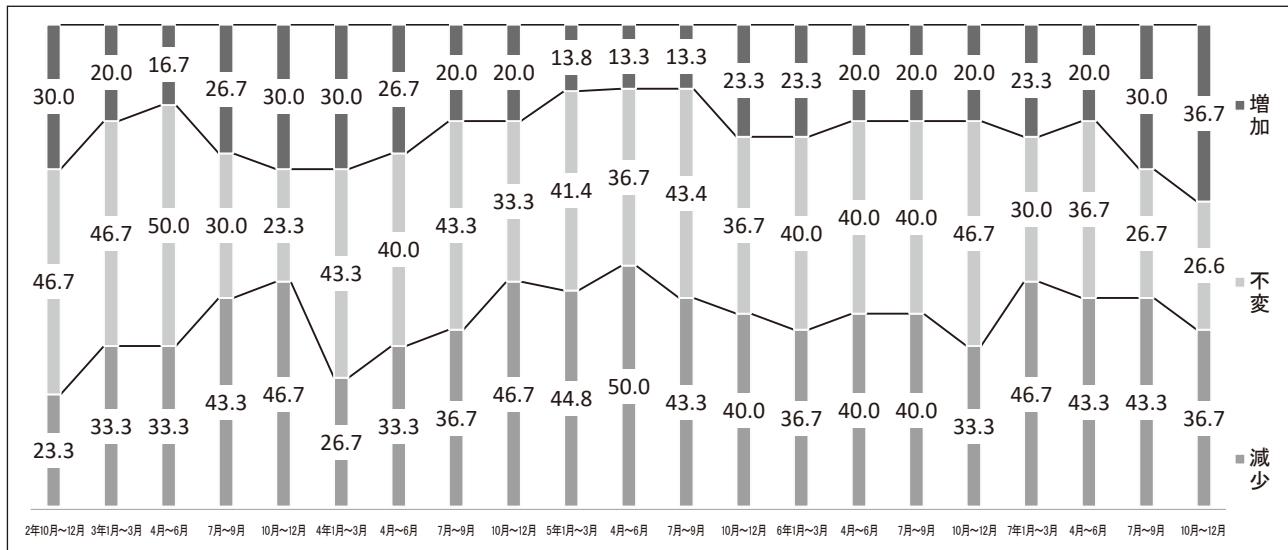
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図3-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

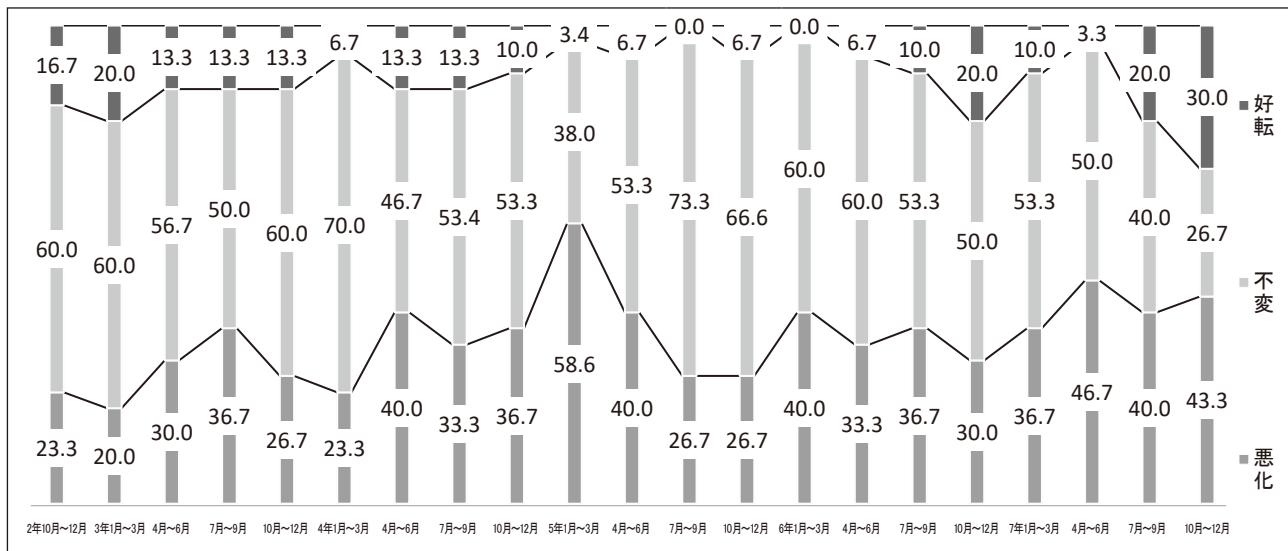


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

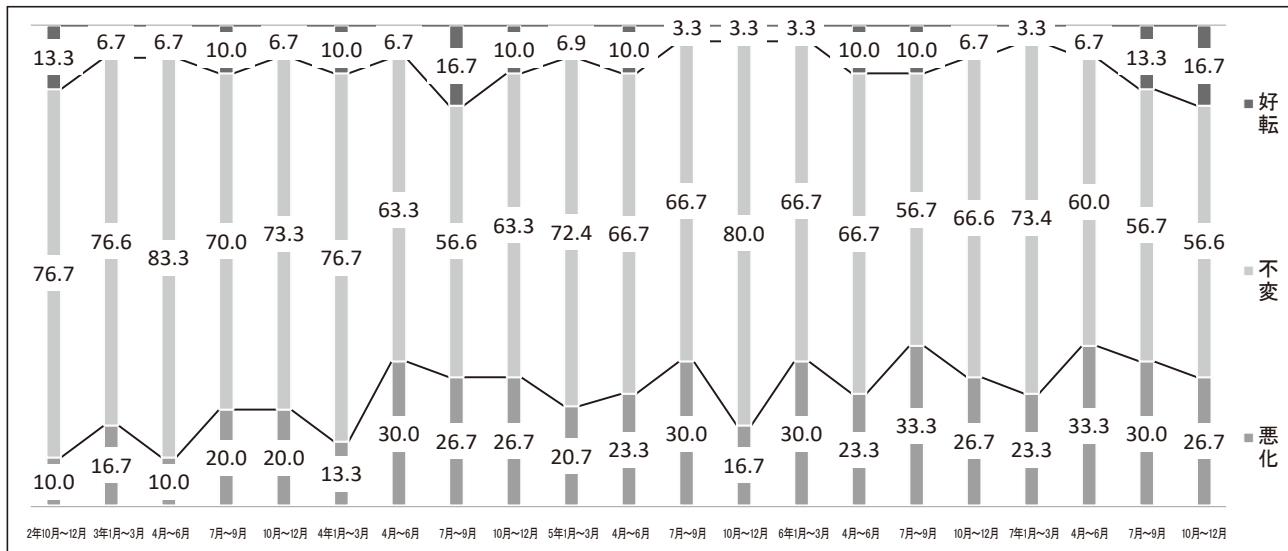
<図3-2> (岡山県) 完成工事額(請負工事)の状況



<図3-3> (岡山県) 採算の状況

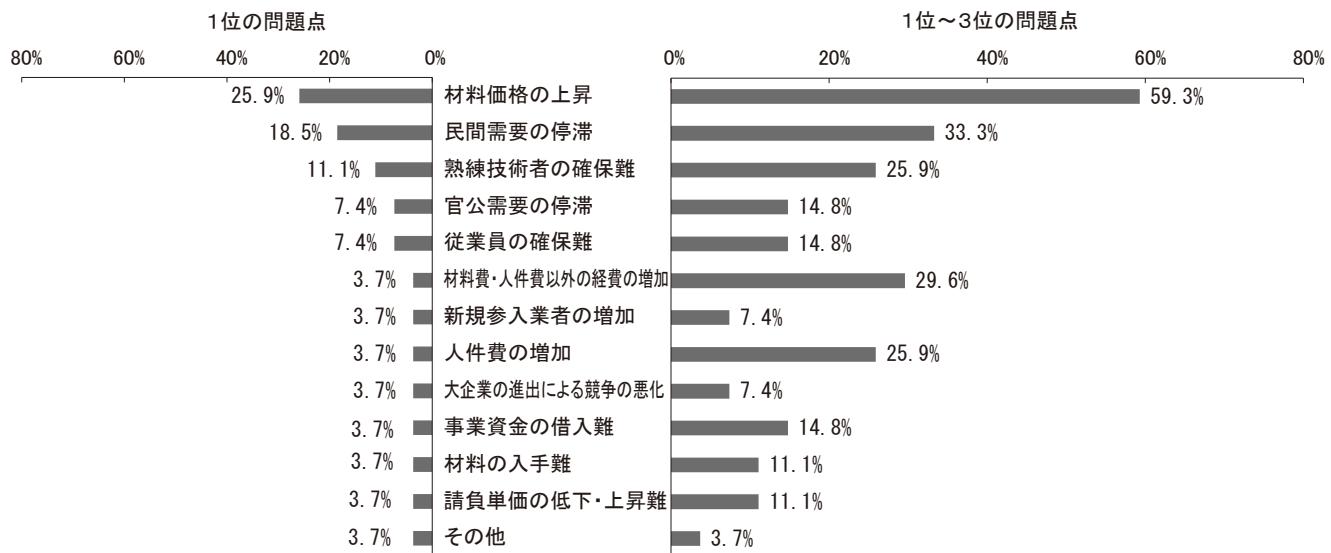


<図3-4> (岡山県) 資金繰りの状況



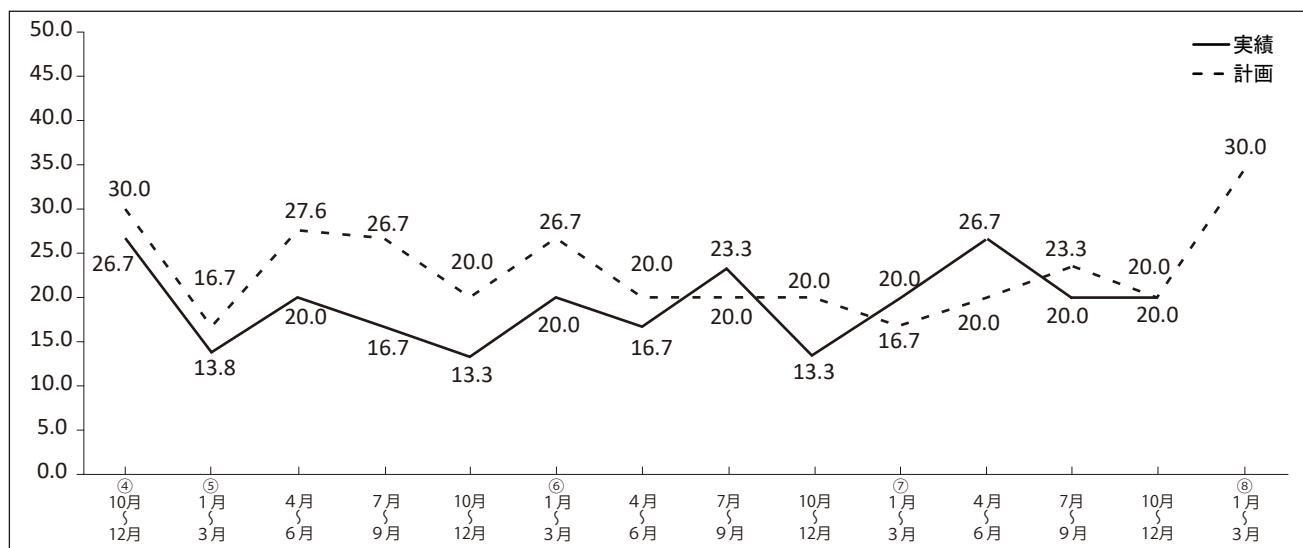
(3) 経営上の問題点の状況

<図3-5> (岡山県) 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

<図3-6> (岡山県) 設備投資の状況 (実績・計画)



<表3-1> (岡山県) 新規設備投資

	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月	7年 10月 ～12月	8年 1月 ～3月
実施した 計画している	26.7 30.0	13.8 16.7	20.0 27.6	16.7 26.7	13.3 20.0	20.0 26.7	16.7 20.0	23.3 20.0	13.3 20.0	20.0 16.7	26.7 20.0	20.0 23.3	20.0 20.0	20.0 30.0
土地	25.0 22.2	25.0 20.0	16.7 25.0	60.0 16.7	50.0 12.5	16.7 33.3	40.0 33.3	14.3 0.0	25.0 0.0	16.7 20.0	12.5 16.7	16.7 14.3	16.7 33.3	16.7 11.1
建物	25.0 33.3	25.0 40.0	16.7 37.5	20.0 25.0	25.0 0.0	33.3 25.0	40.0 50.0	14.3 16.7	50.0 40.0	16.7 40.0	25.0 42.9	16.7 16.7	16.7 42.9	16.7 11.1
建設機械	62.5 33.3	25.0 60.0	16.7 25.0	0.0 37.5	50.0 50.0	0.0 37.5	40.0 33.3	28.6 16.7	50.0 33.3	50.0 40.0	37.5 33.3	16.7 28.6	16.7 16.7	16.7 33.3
車両・運 搬具	25.0 44.4	25.0 40.0	83.3 50.0	40.0 37.5	25.0 16.7	33.3 25.0	0.0 33.3	57.1 33.3	25.0 33.3	33.3 40.0	37.5 50.0	66.7 57.1	50.0 66.7	50.0 66.7
付帯施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 20.0	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7 0.0	16.7 0.0
OA機器	12.5 11.1	0.0 20.0	0.0 12.5	0.0 12.5	25.0 16.7	33.3 12.5	40.0 33.3	28.6 33.3	50.0 33.3	16.7 40.0	50.0 50.0	50.0 0.0	66.7 50.0	66.7 33.3
福利厚生 施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 12.5	25.0 16.7	16.7 12.5	16.7 0.0	14.3 0.0	25.0 33.3	0.0 33.3	0.0 40.0	0.0 50.0	0.0 0.0	16.7 33.3
その他	0.0 11.1	75.0 0.0	16.7 12.5	20.0 25.0	0.0 16.7	0.0 33.3	0.0 33.3	28.6 33.3	0.0 33.3	33.3 20.0	12.5 16.7	16.7 14.3	0.0 16.7	16.7 11.1
実施していない 計画していない	73.3 70.0	86.2 83.3	80.0 72.4	83.3 73.3	86.7 80.0	80.0 73.3	83.3 80.0	76.7 80.0	86.7 80.0	80.0 83.3	73.3 80.0	80.0 76.7	80.0 80.0	80.0 70.0

(5) 主要景況項目の概況

<表3-2> (岡山県) 建設業 (令和7年10月~12月)

項目名	D I 値の変化				
	(a)上昇・増加・好転	(b)不变	(c)低下・減少・悪化	(a)-(c)	
受注額 (新規契約工事)	本期	26.7	40.0	33.3	-6.6
	前期	26.7	30.0	43.3	-16.6
	本期-前期	0.0	10.0	-10.0	10.0
完成工事額 (請負工事)	本期	36.7	26.6	36.7	0.0
	前期	30.0	26.7	43.3	-13.3
	本期-前期	6.7	-0.1	-6.6	13.3
	来期	10.0	56.7	33.3	-23.3
	来期-本期	-26.7	30.1	-3.4	-23.3
材料仕入単価	本期	70.0	26.7	3.3	66.7
	前期	63.3	33.4	3.3	60.0
	本期-前期	6.7	-6.7	0.0	6.7
採算 (経常利益)	本期	30.0	26.7	43.3	-13.3
	前期	20.0	40.0	40.0	-20.0
	本期-前期	10.0	-13.3	3.3	6.7
	来期	13.3	60.0	26.7	-13.4
	来期-本期	-16.7	33.3	-16.6	-0.1
引合い	本期	17.2	62.1	20.7	-3.5
	前期	10.3	62.1	27.6	-17.3
	本期-前期	6.9	0.0	-6.9	13.8
契約残 (未消化工事高)	本期	6.7	70.0	23.3	-16.6
	前期	10.0	60.0	30.0	-20.0
	本期-前期	-3.3	10.0	-6.7	3.4
従業員	本期	3.6	78.5	17.9	-14.3
	前期	7.1	60.8	32.1	-25.0
	本期-前期	-3.5	17.7	-14.2	10.7
外部人材 (請負・派遣)	本期	21.4	64.3	14.3	7.1
	前期	20.0	60.0	20.0	0.0
	本期-前期	1.4	4.3	-5.7	7.1
業況 (自社)	本期	24.1	48.3	27.6	-3.5
	前期	23.3	40.0	36.7	-13.4
	本期-前期	0.8	8.3	-9.1	9.9
	来期	13.3	53.4	33.3	-20.0
	来期-本期	-10.8	5.1	5.7	-16.5
資金繰り	本期	16.7	56.6	26.7	-10.0
	前期	13.3	56.7	30.0	-16.7
	本期-前期	3.4	-0.1	-3.3	6.7
	来期	3.3	66.7	30.0	-26.7
	来期-本期	-13.4	10.1	3.3	-16.7

4 小売業の景況

1) 主要項目の動き

「売上額」DI（増加ー減少）は、(前期-29.1)→-16.6（前期差12.5ポイント増）と増加した。来期のDI（増加ー減少）は、今期比▲11.2ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」DI（好転ー悪化）は、(前期-40.0)→-25.9（前期差14.1ポイント増）と好転した。来期のDI（好転ー悪化）は、今期比0.0ポイントの増減なしを予想している。

「資金繰り」DI（好転ー悪化）は、(前期-29.6)→-16.6（前期差13.0ポイント増）と好転した。来期のDI（好転ー悪化）は、今期比5.5ポイントの好転を予想している。

「商品仕入単価」DI（上昇ー低下）は、(前期63.6)→79.6（前期差16.0ポイント増）と上昇した。

「客単価」DI（上昇ー低下）は、(前期1.8)→0.0（前期差1.8ポイント減）と低下した。

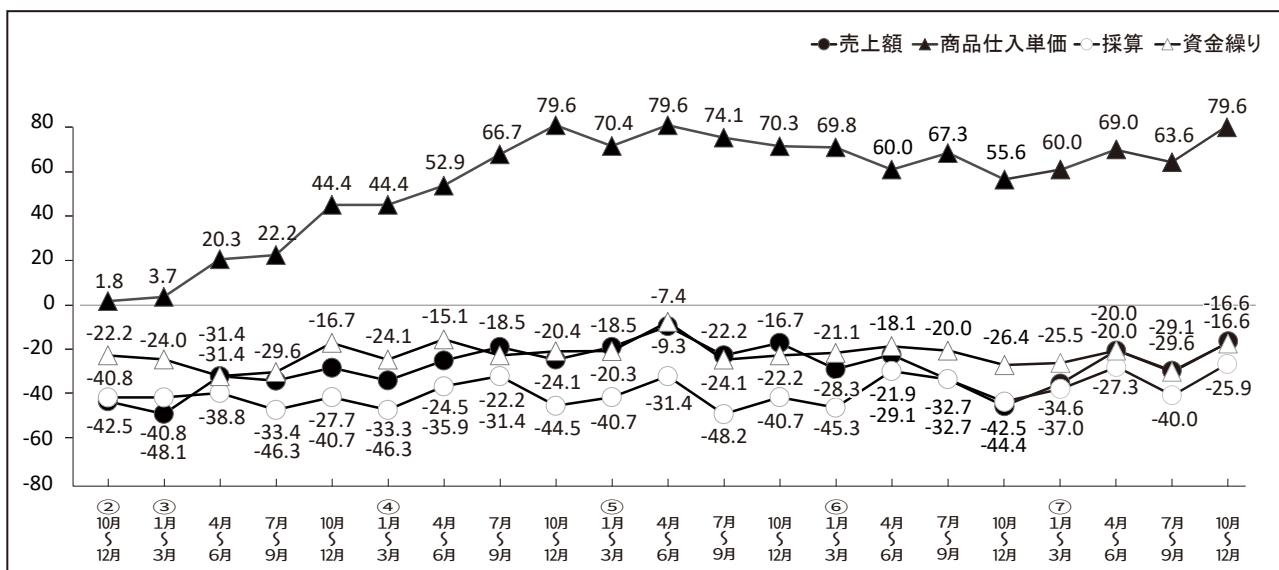
「客数」DI（増加ー減少）は、(前期-49.1)→-35.1（前期差14.0ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「仕入単価の上昇」(32.7%)、第2位は「消費者ニーズの変化への対応」(20.4%)、第3位は「購買力の他地域への流出」(18.4%)である。

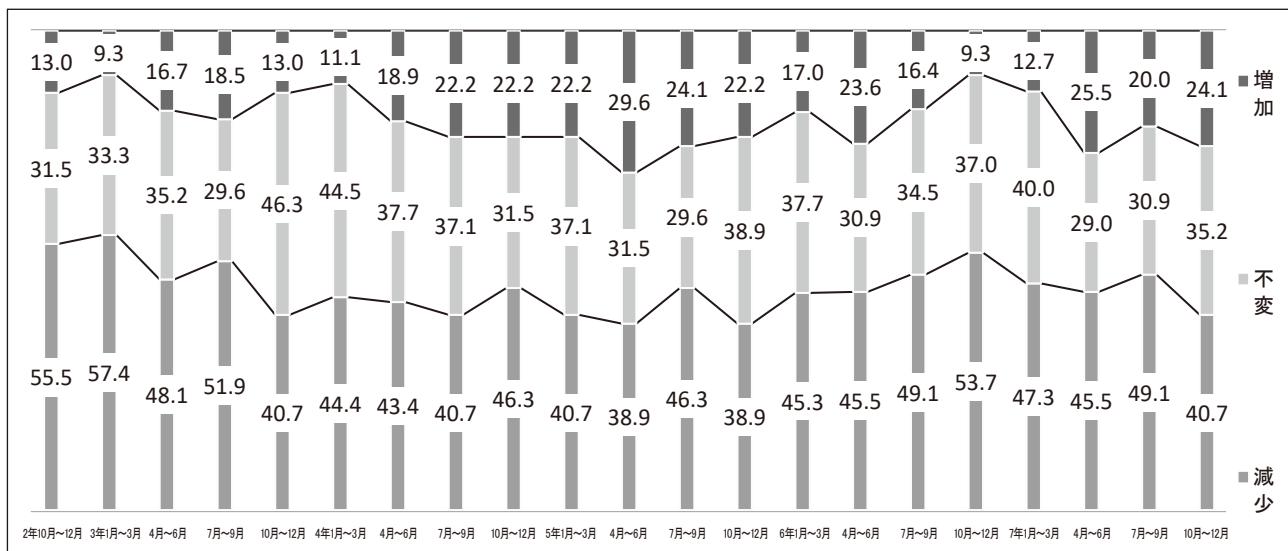
(1) 主要項目の動き 一前年同期比一

<図4-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

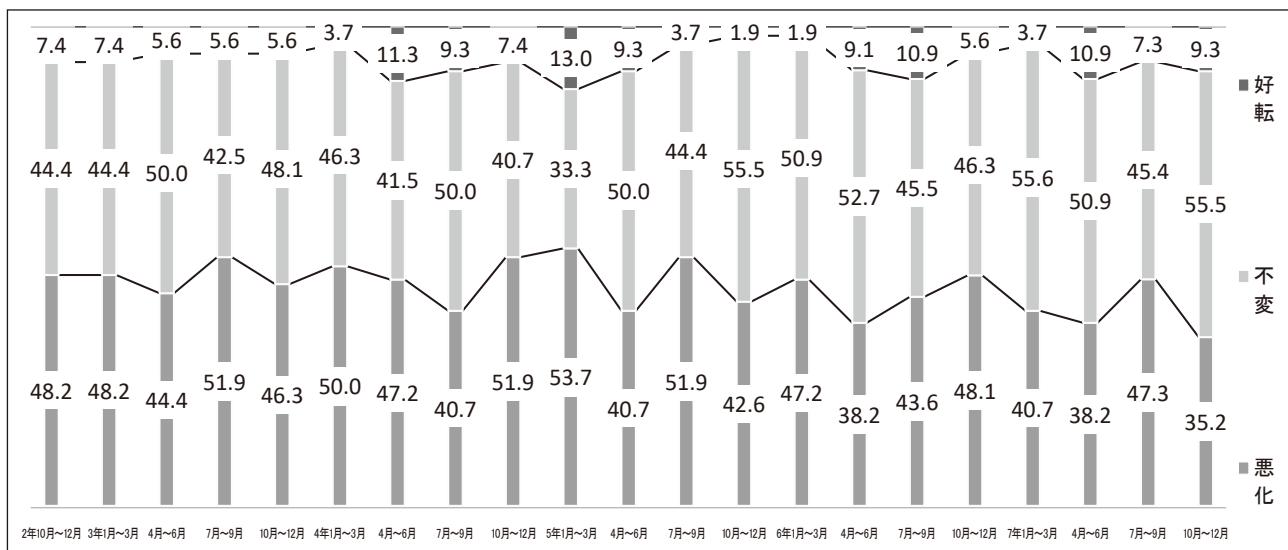


(2) 主要3項目の状況 前年同期比

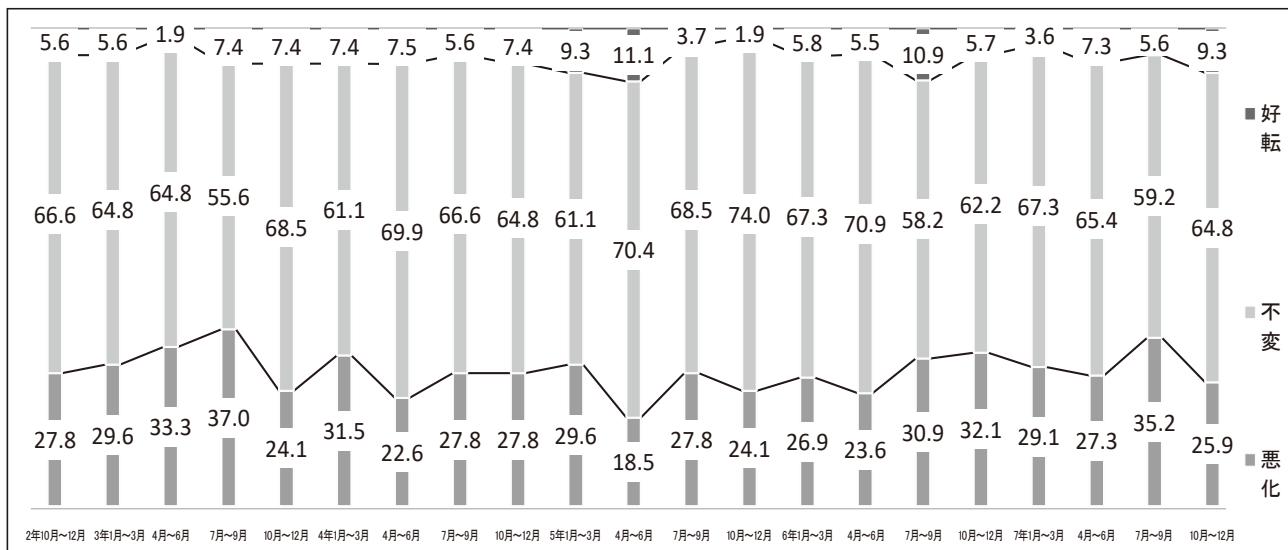
<図4-2> (岡山県) 売上額の状況



<図4-3> (岡山県) 採算の状況

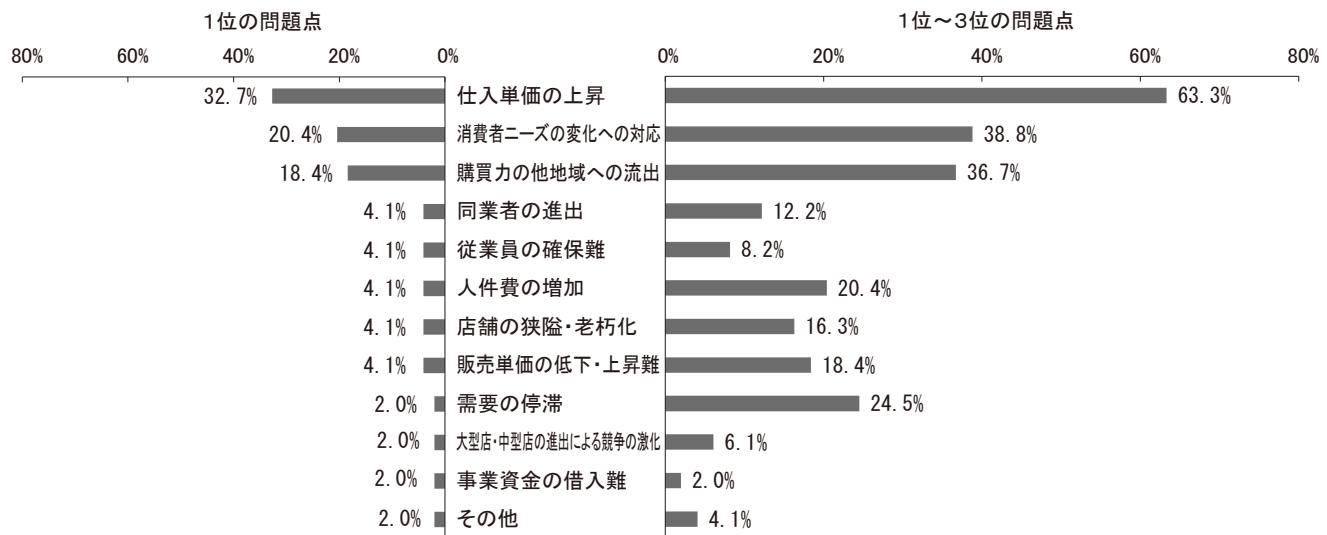


<図4-4> (岡山県) 資金繰りの状況



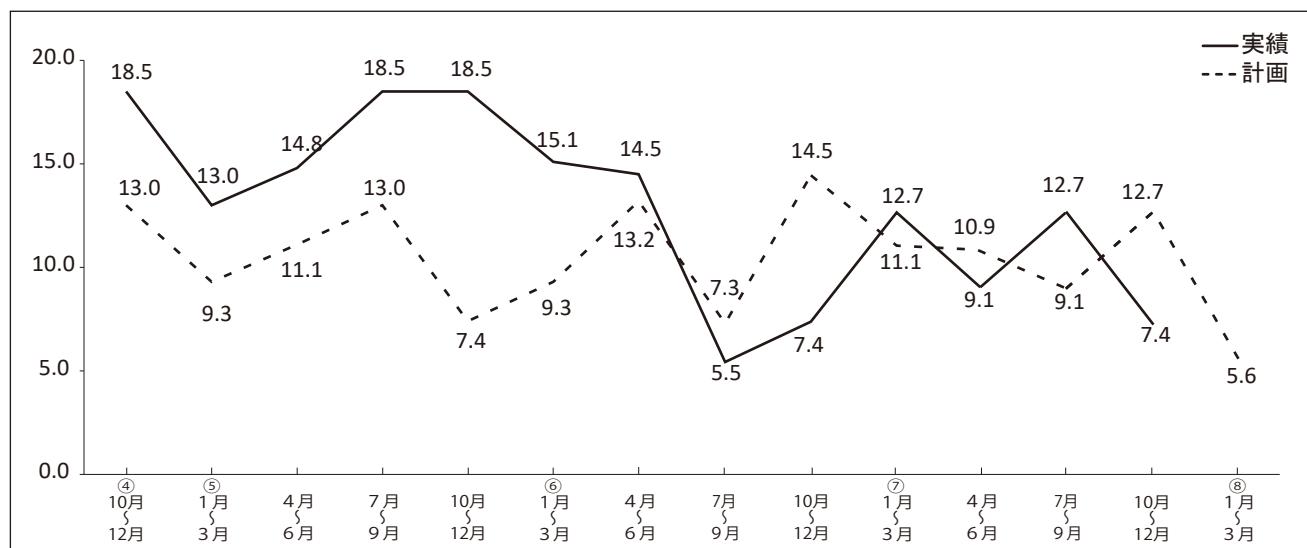
(3) 経営上の問題点の状況

<図4-5> (岡山県) 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

<図4-6> (岡山県) 設備投資の状況 (実績・計画)



<表4-1> (岡山県) 新規設備投資

	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月	7年 10月 ～12月	8年 1月 ～3月	
実施した 計画している	18.5 13.0	13.0 9.3	14.8 11.1	18.5 13.0	18.5 7.4	15.1 9.3	14.5 13.2	5.5 7.3	7.4 14.5	12.7 11.1	9.1 10.9	12.7 9.1	7.4 12.7	5.6 12.7	
土地	0.0 0.0	0.0 0.0	12.5 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 14.3	0.0 25.0	0.0 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	
店舗	10.0 14.3	28.6 20.0	12.5 16.7	20.0 14.3	0.0 25.0	25.0 20.0	37.5 28.6	0.0 50.0	0.0 50.0	14.3 33.3	20.0 0.0	14.3 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	
販売設備	20.0 42.9	42.9 20.0	62.5 16.7	40.0 28.6	40.0 50.0	50.0 20.0	50.0 28.6	66.7 50.0	75.0 37.5	0.0 50.0	20.0 33.3	14.3 0.0	50.0 14.3	33.3 33.3	
車両・運搬具	40.0 14.3	28.6 0.0	37.5 16.7	20.0 28.6	30.0 25.0	0.0 40.0	25.0 14.3	33.3 25.0	0.0 25.0	14.3 12.5	40.0 16.7	57.1 50.0	25.0 0.0	14.3 14.3	33.3 33.3
付帯施設	10.0 0.0	14.3 40.0	12.5 0.0	20.0 0.0	30.0 0.0	12.5 50.0	25.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	28.6 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 40.0	0.0 0.0	0.0 0.0
OA機器	10.0 14.3	42.9 0.0	12.5 0.0	20.0 0.0	20.0 0.0	0.0 20.0	25.0 14.3	0.0 25.0	25.0 25.0	28.6 16.7	0.0 40.0	14.3 57.1	25.0 66.7	50.0 66.7	
福利厚生施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
その他	20.0 14.3	0.0 20.0	0.0 33.3	0.0 28.6	20.0 25.0	25.0 0.0	0.0 14.3	0.0 0.0	94.5 12.5	92.6 0.0	87.3 0.0	90.9 0.0	87.3 20.0	92.6 28.6	94.4 0.0
実施していない 計画していない	81.5 87.0	87.0 90.7	85.2 88.9	81.5 87.0	81.5 92.6	84.9 90.7	85.5 86.8	94.5 92.7	92.6 85.5	87.3 88.9	90.9 89.1	87.3 90.9	92.6 87.3	94.4 94.4	

(5) 主要景況項目の概況

<表4-2> (岡山県) 小売業 (令和7年10月~12月)

項目名		D I 値の変化			
		(a)上昇・増加・好転	(b)不变	(c)低下・減少・悪化	(a)-(c)
売上額	本期	24.1	35.2	40.7	-16.6
	前期	20.0	30.9	49.1	-29.1
	本期－前期	4.1	4.3	-8.4	12.5
	来期	7.4	57.4	35.2	-27.8
	来期－本期	-16.7	22.2	-5.5	-11.2
客単価	本期	22.2	55.6	22.2	0.0
	前期	23.6	54.6	21.8	1.8
	本期－前期	-1.4	1.0	0.4	-1.8
客数	本期	13.0	38.9	48.1	-35.1
	前期	9.1	32.7	58.2	-49.1
	本期－前期	3.9	6.2	-10.1	14.0
商品仕入単価	本期	81.5	16.6	1.9	79.6
	前期	69.1	25.4	5.5	63.6
	本期－前期	12.4	-8.8	-3.6	16.0
商品仕入額	本期	51.9	31.4	16.7	35.2
	前期	40.0	40.0	20.0	20.0
	本期－前期	11.9	-8.6	-3.3	15.2
商品在庫数量	本期	5.7	67.9	26.4	-20.7
	前期	1.9	75.5	22.6	-20.7
	本期－前期	3.8	-7.6	3.8	0.0
採算(経常利益)	本期	9.3	55.5	35.2	-25.9
	前期	7.3	45.4	47.3	-40.0
	本期－前期	2.0	10.1	-12.1	14.1
	来期	5.6	62.9	31.5	-25.9
	来期－本期	-3.7	7.4	-3.7	0.0
従業員 (含臨時・パート)	本期	4.5	88.7	6.8	-2.3
	前期	0.0	90.9	9.1	-9.1
	本期－前期	4.5	-2.2	-2.3	6.8
外部人材 (請負・派遣)	本期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	0.0	95.2	4.8	-4.8
	本期－前期	0.0	4.8	-4.8	4.8
業況(自社)	本期	9.3	51.8	38.9	-29.6
	前期	9.1	50.9	40.0	-30.9
	本期－前期	0.2	0.9	-1.1	1.3
	来期	9.3	59.2	31.5	-22.2
	来期－本期	0.0	7.4	-7.4	7.4
資金繰り	本期	9.3	64.8	25.9	-16.6
	前期	5.6	59.2	35.2	-29.6
	本期－前期	3.7	5.6	-9.3	13.0
	来期	7.4	74.1	18.5	-11.1
	来期－本期	-1.9	9.3	-7.4	5.5

5 サービス業の景況

1) 主要項目の動き

「売上（収入）額」D I（増加ー減少）は、（前期－9.2）→－9.3（前期差0.1ポイント減）と減少した。来期のD I（増加ー減少）は、今期比5.6ポイントの増加を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転ー悪化）は、（前期－12.9）→－11.1（前期差1.8ポイント増）と好転した。来期のD I（好転ー悪化）は、今期比3.7ポイントの好転を予想している。

「資金繰り」D I（好転ー悪化）は、（前期－5.6）→－7.4（前期差1.8ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転ー悪化）は、今期比0.0ポイントの増減なしを予想している。

「仕入単価（材料等）」D I（上昇ー低下）は、（前期57.4）→50.9（前期差6.5ポイント減）と低下した。

「客単価」D I（上昇ー低下）は、（前期13.0）→12.9（前期差0.1ポイント減）と低下した。

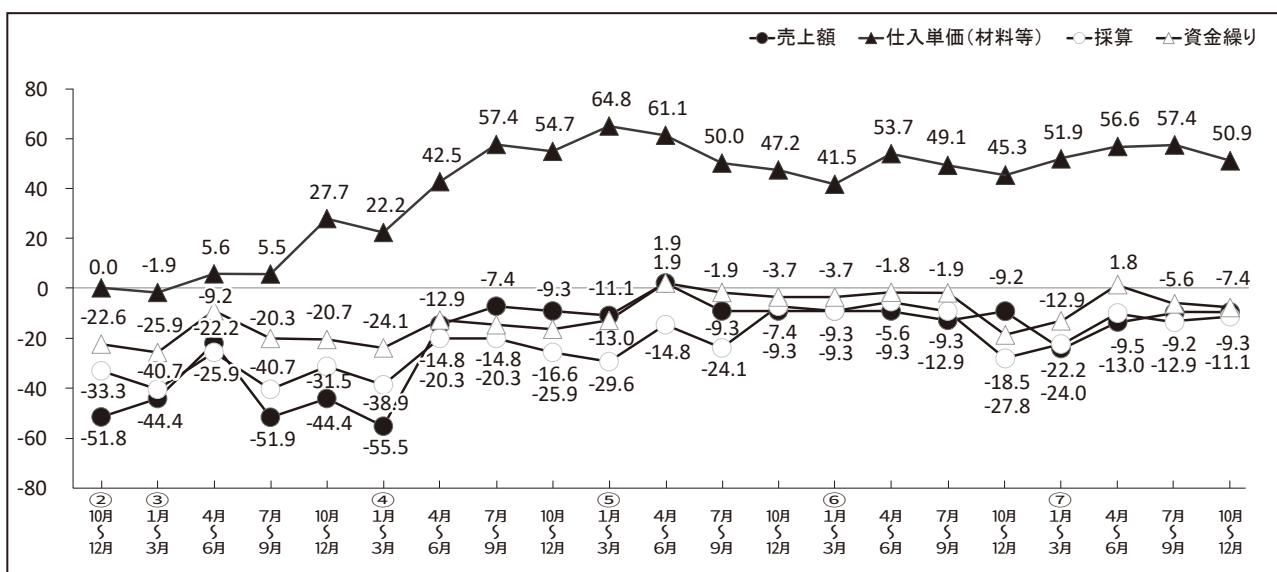
「利用客数」D I（増加ー減少）は、（前期－11.1）→－9.3（前期差1.8ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「利用者ニーズの変化」（25.6%）、第2位は「材料等仕入単価の上昇」（20.5%）、第3位は「人件費以外の経費の増加」（10.3%）である。

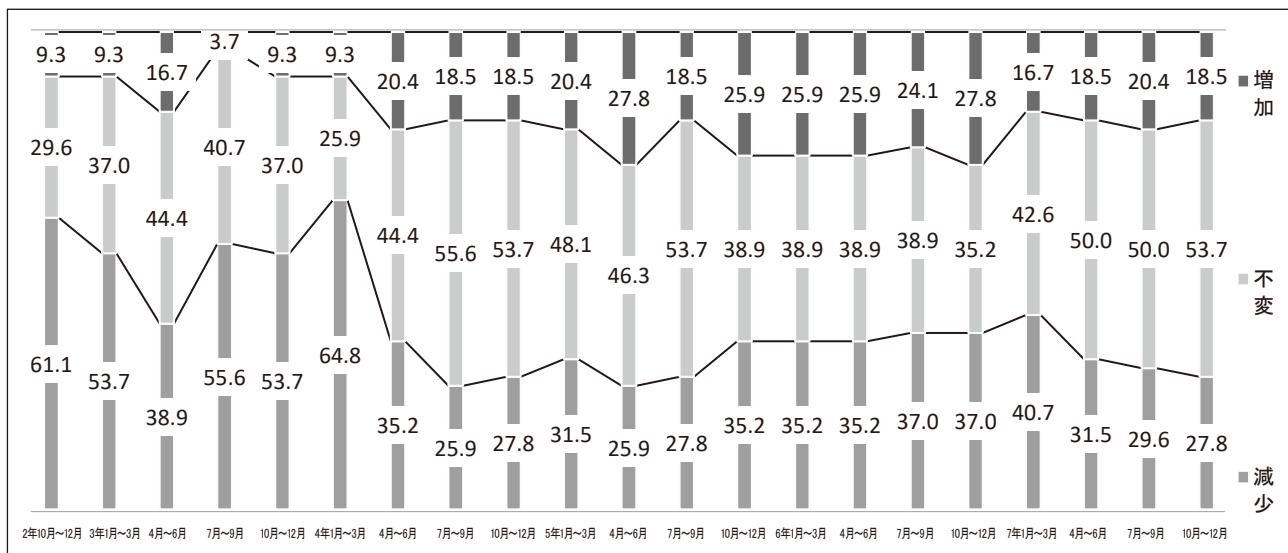
(1) 主要項目の動き 一前年同期比一

<図5-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

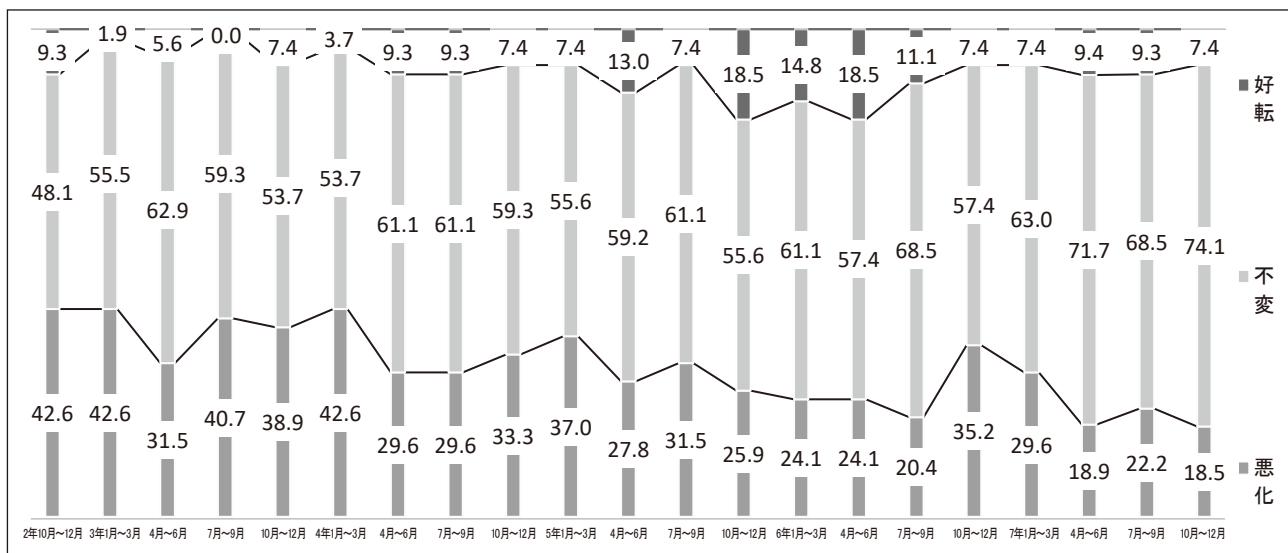


(2) 主要3項目の状況 一前年同期比一

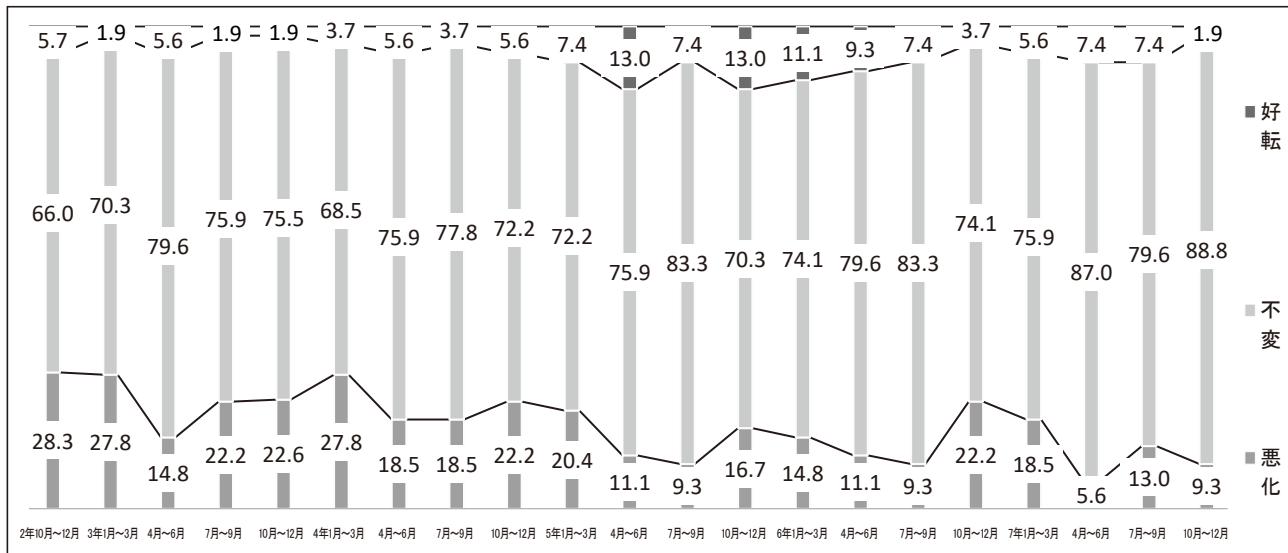
<図5-2> (岡山県) 売上(収入)額の状況



<図5-3> (岡山県) 採算の状況

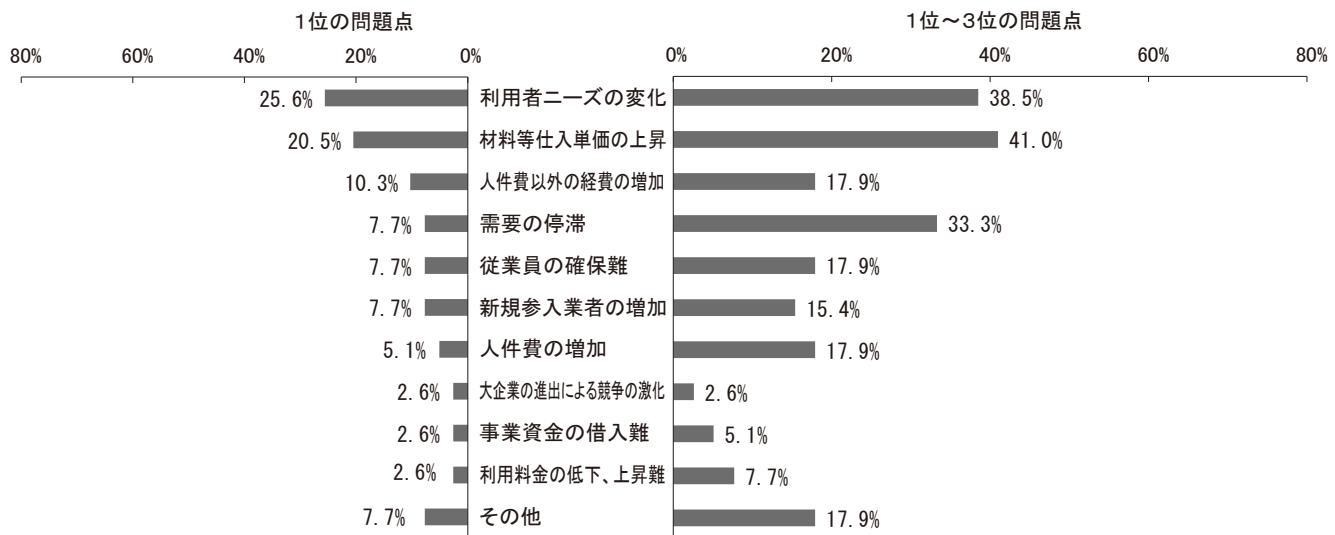


<図5-4> (岡山県) 資金繰りの状況



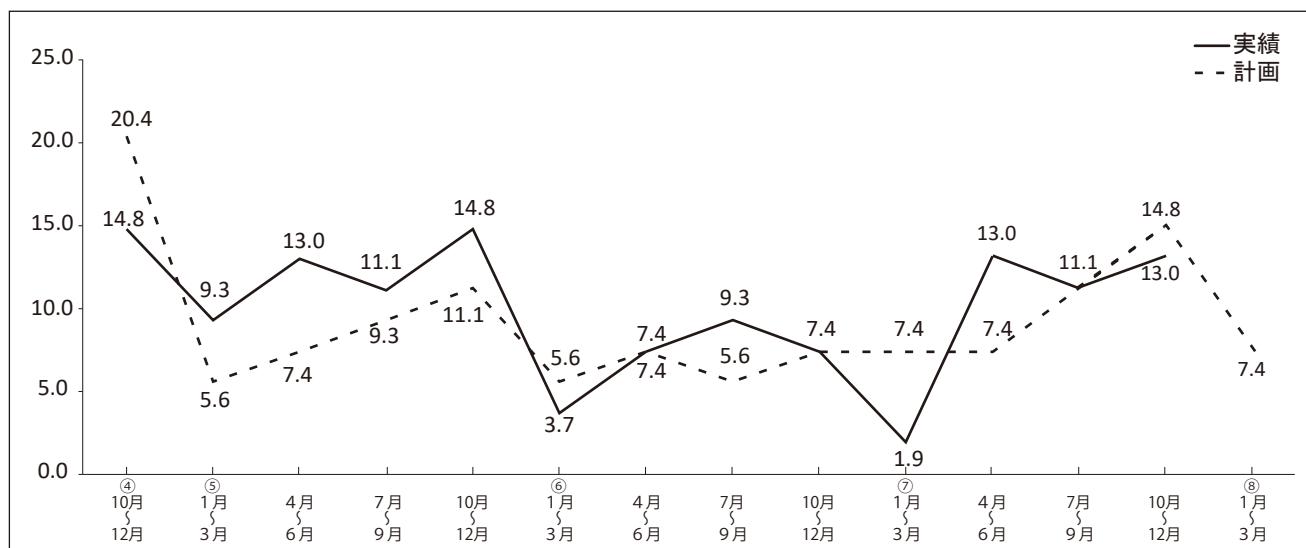
(3) 経営上の問題点の状況

<図5-5> (岡山県) 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

<図5-6> (岡山県) 設備投資の状況 (実績・計画)



<表5-1> (岡山県) 新規設備投資

	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月	7年 10月 ～12月	8年 1月 ～3月
実施している 計画している	14.3 14.3	19.0 9.5	21.4 11.9	9.5 16.7	9.5 7.1	14.3 14.3	24.4 16.7	19.5 14.6	14.6 14.6	12.2 9.8	9.8 12.2	17.1 19.5	14.6 19.5	17.1
土地	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	10.0 28.6	0.0 0.0	16.7 16.7	20.0 0.0	25.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
工場建物	0.0 25.0	12.5 0.0	44.4 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 14.3	12.5 16.7	16.7 16.7	20.0 25.0	25.0 40.0	42.9 50.0	50.0 50.0	14.3
生産設備	16.7 33.3	62.5 25.0	11.1 20.0	50.0 42.9	75.0 100.0	83.3 50.0	60.0 57.1	50.0 50.0	50.0 33.3	20.0 0.0	50.0 60.0	14.3 50.0	66.7 37.5	57.1
車両・運搬具	33.3 33.3	25.0 0.0	11.1 40.0	25.0 14.3	0.0 0.0	16.7 33.3	0.0 14.3	37.5 33.3	33.3 0.0	20.0 75.0	25.0 0.0	0.0 25.0	16.7 37.5	42.9
付帯施設	16.7 0.0	12.5 50.0	11.1 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 14.3	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	42.9 12.5	0.0 25.0	14.3
OA機器	0.0 16.7	12.5 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	0.0 28.6	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	14.3 12.5	16.7 14.3	14.3
福利厚生施設	33.3 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	12.5 0.0	16.7 16.7	16.7 25.0	0.0 20.0	25.0 12.5	14.3 0.0	16.7 14.3	14.3
その他	0.0 0.0	0.0 0.0	22.2 14.3	25.0 0.0	0.0 0.0	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	14.3
実施していない 計画していない	85.7 85.7	81.0 90.5	78.6 88.1	90.5 83.3	90.5 92.9	85.7 85.7	75.6 83.3	80.5 85.4	85.4 85.4	87.8 90.2	90.2 87.8	82.9 80.5	85.4 80.5	82.9

(5) 主要景況項目の概況

<表5-2> (岡山県) サービス業 (令和7年10月~12月)

項目名	D I 値の変化				
	(a)上昇・増加・好転	(b)不变	(c)低下・減少・悪化	(a)-(c)	
売上(収入)額	今期	18.5	53.7	27.8	-9.3
	前期	20.4	50.0	29.6	-9.2
	今期-前期	-1.9	3.7	-1.8	-0.1
	来期	13.0	70.3	16.7	-3.7
	来期-今期	-5.5	16.6	-11.1	5.6
客単価	今期	22.2	68.5	9.3	12.9
	前期	27.8	57.4	14.8	13.0
	今期-前期	-5.6	11.1	-5.5	-0.1
利用客数	今期	14.8	61.1	24.1	-9.3
	前期	18.5	51.9	29.6	-11.1
	今期-前期	-3.7	9.2	-5.5	1.8
仕入単価(材料等)	今期	50.9	49.1	0.0	50.9
	前期	57.4	42.6	0.0	57.4
	今期-前期	-6.5	6.5	0.0	-6.5
採算(経常利益)	今期	7.4	74.1	18.5	-11.1
	前期	9.3	68.5	22.2	-12.9
	今期-前期	-1.9	5.6	-3.7	1.8
	来期	7.4	77.8	14.8	-7.4
	来期-今期	0.0	3.7	-3.7	3.7
従業員 (含臨時・パート)	今期	2.4	88.1	9.5	-7.1
	前期	2.4	90.3	7.3	-4.9
	今期-前期	0.0	-2.2	2.2	-2.2
外部人材 (請負・派遣)	今期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	0.0	100.0	0.0	0.0
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
業況(自社)	今期	9.3	72.2	18.5	-9.2
	前期	9.3	74.0	16.7	-7.4
	今期-前期	0.0	-1.8	1.8	-1.8
	来期	7.4	81.5	11.1	-3.7
	来期-今期	-1.9	9.3	-7.4	5.5
資金繰り	今期	1.9	88.8	9.3	-7.4
	前期	7.4	79.6	13.0	-5.6
	今期-前期	-5.5	9.2	-3.7	-1.8
	来期	1.9	88.8	9.3	-7.4
	来期-今期	0.0	0.0	0.0	0.0